

☑平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報																			
☑ 位置付けられている計画等で「その他の計画」が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。																			
事務事業名	石下総合福祉センター運営管理経費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計		款	3	項	1	目	9	事業	1
担当部	保健福祉部	担当課	社会福祉課	担当係	社会	係	作成者	小林 隆男	内線(電話番号)	4131	シート作成日	H30.10.18	部長決裁日	H30.10.24					
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 :)			根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 :) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 : 常総市石下総合福祉センターの設置及び管理に関する条例)															

2 事務事業の目的													
☑ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。													
現状課題	本来、当該センターは、市民の生きがいづくり、保健予防及び健康づくり、介護予防及び生活支援、障害者の自立及び社会生活支援等の業務を通じ、市民の福祉の向上並びに健康の保持及び増進に資するために設置したが、現在では保健福祉関係の職員が配置されておらず、健診業務での利用や福祉団体等による会議室の利用が中心となっている。また、建設後17年が経過し、設備の老朽化が進んでおり、お風呂の温度調節ができない、エアコンが利かない等のトラブルも増えている。			誰・何を対象に ①福祉センター設備、②福祉センター自体			どのような方法・手順で ①福祉センター設備の大規模修繕を行う、②福祉センターのあり方を検討する、業務の見直しを行う			望ましい状態 ①設備の不具合のない安定した施設運営及び快適で良質なサービスの提供 ②本来の設置目的に沿うよう、保健福祉関係の部署が事務室として使用し福祉・保健に関する業務を提供するとともに、会議室を一般に貸し出す形にする。			

3 事務事業の主たる成果指標														
☑ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	浴室・大広間の利用者数	単位	人	目標値	4000	目標年次	平成 34 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	平成29年度の利用実績が、浴室約10,000人、大広間約3,500人であることを踏まえ、次の2つの理由により目標数値を設定した。①仮に浴室を廃止した場合は約10,000人減ること、②大広間の利用者は実績の3,500人から伸びても4,000人程度と想定したこと。					

4 事務事業の実績 ㊦																		
☑ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																		
年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度											
	業務名			業務名			業務名											
事務事業を構成する主な業務	①	浴室・大広間の利用受付、貸出、利用料收受	135日	①	浴室・大広間の利用受付、貸出、利用料收受	51日	①	浴室・大広間の利用受付、貸出、利用料收受	301日									
	②	会議室利用の利用受付、貸出、利用料收受	135日	②	備品の貸出	51日	②	会議室利用の利用受付、貸出、利用料收受	301日									
	③	備品の貸出	135日	③	施設の維持管理	51日	③	備品の貸出	301日									
	④	施設の維持管理	135日	④	施設入居団体との連絡調整	10日	④	施設の維持管理	301日									
	⑤	施設入居団体との連絡調整	20日	⑤			⑤	施設入居団体との連絡調整	60日									
	⑥			⑥			⑥											
	⑦			⑦			⑦											
	⑧			⑧			⑧											
	⑨			⑨			⑨											
	⑩			⑩			⑩											
	⑪			⑪			⑪											
	⑫			⑫			⑫											
	目標値に対する実績値			9333 人			目標値に対する実績値			0 人			目標値に対する実績値			13130 人		
決算額	計	19,350,180 円	内訳	特定財源	1,713,500 円	計	10,961,407 円	内訳	特定財源	571,500 円	計	32,225,338 円	内訳	特定財源	2,548,200 円			
				一般財源	17,636,680 円				一般財源	10,389,907 円				一般財源	29,677,138 円			
		(住民一人あたりの行政コスト)			313 円			(住民一人あたりの行政コスト)			180 円			(住民一人あたりの行政コスト)			533 円	

5 担当者評価 ㊧													
☑ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。													
成果	目標は設定していない	成果内容	水害後、はじめて年間を通じて閉館したが、お風呂の温度調節ができないといった不具合が生じ、一部施設の利用ができない状態になった。										
問題点	・お風呂については、維持に相当な金額がかかっており、福祉センターの上下水道の8割、灯油代の6割がお風呂の分である。仮にお風呂を廃止すると800万円が削減できる試算であり、利用者も固定化している施設であるため、お風呂の廃止を検討すべきである。 ・築18年を経過するが、これまで大規模な修繕を行なわなかったことに加え、水害後にしばらく機械を動かさなかったこともあり、機械の不具合が増えつつあるので、機械設備の大規模な修繕を検討すべき時期である。												

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨													
☑ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	施設の利用状況を勘案しながら、施設全体の経費削減を行う必要がある。そのなかで、利用実人員が約50名程とほぼ固定客化されている入浴施設については、リハビリ等の福祉関連施設が併設となって健康面での入浴利用がなされているわけでもなく、多額な予算を充当しながら継続していく必要性は低いと考える。												

7 実施計画 ㊩													
☑ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。													
年度	平成30年度			平成31年度			平成32年度						
事業内容	一般利用者への貸出業務			一般利用者への貸出業務			一般利用者への貸出業務						
	・浴室・大広間の利用受付、貸出、利用料收受 ・会議室利用の利用受付、貸出、利用料收受 ・備品の貸出 施設入居団体との連絡調整業務 ・契約、利用、休館等に関する連絡調整 ・電気料金等の收受 施設の維持管理業務 ・機器借上、保守管理、清掃等の各業者との契約、連絡調整 ・市直営による草刈、枝払い ・故障した機器の修繕			・浴室・大広間の受付、貸出、利用料收受 ・会議室利用の利用受付、貸出、利用料收受 ・備品の貸出 施設入居団体との連絡調整業務 ・契約、利用、休館等に関する連絡調整 ・電気料金等の收受 施設の維持管理業務 ・機器借上、保守管理、清掃等の各業者との契約、連絡調整 ・市直営による草刈、枝払い ・故障した機器の修繕 ・JAデイサービス空調設備増設工事			・大広間の受付、貸出、利用料收受 ・会議室利用の利用受付、貸出、利用料收受 ・備品の貸出 施設入居団体との連絡調整業務 ・契約、利用、休館等に関する連絡調整 ・電気料金等の收受 施設の維持管理業務 ・機器借上、保守管理、清掃等の各業者との契約、連絡調整 ・市直営による草刈、枝払い ・故障した機器の修繕						
予算額	歳出	計	32,538 千円	歳出	計	37,511 千円	歳出	計	25,400 千円				
		特定財源	2,539 千円		特定財源	2,578 千円		特定財源	2,400 千円				
	歳入	一般財源	30,000 千円	歳入	一般財源	34,933 千円	歳入	一般財源	23,000 千円				
		計	32,539 千円		計	37,511 千円		計	25,400 千円				

8 財務アドバイザーの見解													
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況の中で、本施設を市が運営管理する必要性が全くわからない。指定管理者制度の導入を含め、本事務事業の発展的な見直しが必要であると考えられる。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。浴室や大広間の活用は高齢者の生きがいの場であるため、15万円の収入でも仕方ないと考える。ただし、入浴施設はリハビリ等健康管理施設とは異なるため、将来的には、他の手段を検討するべきである。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪													
☑ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	当センターは、市民の福祉の向上並びに健康の保持及び増進に資するため、設置されているものである。センターの設置の趣旨に鑑みながら施設運営を今後もしていただきたいが、財源不足を考慮に入れ、施設運営には経費削減等を念頭に見直しをされたい。												

11 事務事業の改善理由 ㊫													
☑ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。													
事業内容	JAのデイサービス側の空調設備が故障しており、平成13年度から17年を経過していることも踏まえると、設備の更新工事が必要と判断している。(できるだけJAのデイサービスの運営に支障のない工事方法かつ費用を押さえられる工事方法等を検討した結果、既存設備はそのままし設備を増設する方向で進める予定です)。JAからは行政財産使用料を徴収していること、利用者も高齢者ということを考慮すると、きちんと空調整備を直しておく必要がある。												